

第21回 (R1. 9)

「歯・目・ハラ」

貧乏人は服に体を合わせよ

今回は加齢に伴い急速に進む老化現象のお話。ところで表題と一字違いの俗語がありますね。表題を読み間違え、一瞬ドキッとしたあなた、期待を裏切り申し訳ありません。そっちの話は別の機会に。

まずは「歯」。しばらくメンテナンスをさぼっていたらガタガタに。慌てて歯医者さんに通いでしたが、手入れの悪い口の中を覗かれるのは、お尻を見られるような恥ずかしさがあります。若くて美しい歯科衛生士さんに、「もうちょっと丁寧に歯磨きしましょうね!」などと諭されると、もういけません。だらしない生活を見透かされたようで、身が縮む思いがします。

続いて「目」。最近同世代の知人の白内障や緑内障の手術が続いています。私は幸いなことに故障もな〜と思って

いたら突然白目がウサギみたいに真っ赤に。眼科に行くと加齢により毛細血管の弾力がなくなり、破れて出血するのだそうで大事ないとのこと。

一時は、公民館においてのお姉様方の美貌も、拝めなくなるのかと心配しましたが、やれやれといったところです。

最後に「ハラ」。近年著しい成長を遂げた私のお腹。一時メタボの大台を突破、ワイシヤツのボタンをはじき飛ばし、ズボンのファスナーを破壊するなど猛威を振るいました。結果多くの衣服が廃棄の憂き目に。原因は公民館での間食。昨今は反省して控え気味で、やっとメタボ境界線まで後退しました。「貧乏人は服に体を合わせよ」とはよく言ったものです。さて皆様方はいかに?